

募集

白河まちなか逸品夏休み 親子体験ツアー

各店こだわり・お勧めの逸品を親子で体験しながら歩いて巡るツアーです。

- 日時 7月27日(土)／午前9時～午後0時30分
- 定員 中学生以下の子どもと親 10組(先着順)
- 参加料 900円(食事代込) ※体験料は別途
- 申込期限 7月25日(木)まで
- 申し込み・問い合わせ先

白河商工会議所 ☎3101 戸田橋花火大会観覧 バスツアー

- 日時 8月3日(土)／午後1時大信庁舎発
- 会場 埼玉県戸田市荒川
- 参加料 ▼一般 3,500円 ▼高校生以下 2,000円(保護者の同伴が必要です)
- 定員 市民80人
- 申込期間 7月5日(金)～11日(木) ※現金を添えてお申し込みください。
- 申し込み・問い合わせ先 大信庁舎総務課 ☎2111

白河地方広域市町村圏整備 組合消防吏員採用試験

〔平成26年度採用〕

- 職種・採用人員 消防吏員14人程度
- 資格 昭和59年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた方(学歴・性別不問)
- 試験方法 ▼第一次試験Ⅱ 教養試験・消防適性検査 ▼第二次試験Ⅱ 身体検査・体力検査・口述試験・作文
- 第一次試験の日時および会場

場 9月22日(日)／午前9時から／市産業プラザ人材育成センター(中田)

- 申込期間 7月17日(水)～8月16日(金)
- 第二次試験は、第一次試験合格者に通知します。申込書は、白河地方広域市町村圏消防本部・各消防署・各分署にあります。
- 同消防本部総務課 ☎2168

パソコン教室

《午後初級講座》

- 日時 9月9日(月)～10月7日(月)(毎週月・水・金曜日 ※祝日は休み)／午後1時～4時
- 会場 市産業プラザ人材育成センター(中田)
- 受講料 1万円
- 内容 ワード、エクセルの基礎
- 定員 20人(先着順)
- 申込開始 8月5日(月)から
- 受付時間 午前9時～午後5時 ※平日のみ
- 申込方法 受講料を添えて、センター窓口へ直接お申し込みください。

案内

風しんワクチン接種 費用の一部助成

7月1日から、妊娠を予定または希望する女性と、妊娠している女性の夫を対象に、風しんワクチン接種費用の一部を助成します。

詳細は、別途全戸配付される保健センターだより第10号をご覧ください。

●健康増進課(中央保健センター) ☎272112

夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動

《期間》 7月16日(火)～25日(木)

《スローガン》 「ベルトした? みんなしたよが 合言葉」

《運動の基本》 子どもと高齢者の交通事故防止

※この時期には、暑さや行楽等による疲労から、交通事故の多発が予想されます。無理をしない思いやり運転に心掛けましょう。

●本庁舎生活環境課 内2162

介護保険料減免制度

65歳以上の方で、生活困窮により介護保険料の納付が困難な場合は、保険料が軽減される減免制度があります。

なお、減免を受けるには、申請が必要です。

- 対象 保険料が第3段階(年額4万5,900円)で、次の要件すべてに該当する方は、第2段階の保険料相当額(年額3万600円)に減額します。

▼世帯(2人世帯)で、前年

1年間の収入の合計が120万円以下(60万円以下)であること ※60万円以下の場合には、第2段階の半額の保険料相当額に減額となります。

▼市民税が課税されている方に扶養されていないこと
▼市民税が課税されている方に生計を共にしていないこと
▼資産、預貯金などを活用しても生活が困窮している状態と認められること

●申請期間 7月12日(金)～31日(水)

●本庁舎高齢福祉課 内2725 / 各庁舎市民福祉課 表

「平和の鐘(かね・おと)を鳴らそう!」運動

ユネスコは、戦争を二度と起こさないため、人の心の中に平和の砦を築こうと活動しています。平和を祈り、平和について考える機会として、市内のお寺で鐘を鳴らします。

●日時 7月19日(金)／正午

《わたしの平和宣言》

①すべての人の生命を大切にします ②どんな暴力も許しません ③思いやりの心を持ち、助け合います ④相手の立場に立って考えます ⑤かけがえない地球環境を守ります ⑥みんなで力を合わせます

●白河ユネスコ協会(本庁舎生涯学習スポーツ課内) 内2382

ひとり親家庭医療費更新申請 書および児童扶養手当現況届

ひとり親家庭医療費および児童扶養手当を受給されている方は、毎年(1回)、ひとり親家庭医療費更新申請書お

よび児童扶養手当現況届を提出する必要があります。提出がない場合、引き続き医療費の助成や手当てを受けることができませんので、必ず提出してください。

受給されている方には、申請書などを後日送付します。

- 受付期間 ▼ひとり親家庭医療費 7月16日(火)～31日(水) ▼児童扶養手当 8月1日(木)～30日(金)(平日のみ)
- 手続き・問い合わせ先 本庁舎こども課 内2731 / 各庁舎教育振興課 表郷 ☎4782 大信 ☎463975 東 ☎343146

特定健診の受診

7月1日(月)から10月31日(木)まで、市内および西白河郡内の各実施医療機関で特定健診(個別検診)が受診できます。

対象の方(4月1日現在、国保加入の40歳から74歳まで)で、まだ受診していない方は、この機会に受診しましょう。

なお、希望する方は各医療機関に直接お申し込みください。

●本庁舎国保年金課 内2176

国民健康保険税の税率が決定しました

●平成25年度国保税率 昨年度の税率を据え置きます。

区分	医療分	後期高齢者 支援金等分	介護分
均等割	23,000円	5,400円	10,000円
平等割	27,300円	6,700円	2,000円
所得割	8.17%	1.83%	2.50%
資産割	19.92%	5.08%	-

※介護分は、40歳以上65歳未満の方がいる世帯に課税されます。

《課税限度額》

国保税額には、課税限度額が設定されており、次の金額を超えて課税されることはありません。

医療分	後期高齢者 支援金等分	介護分	合計
51万円	14万円	12万円	77万円

【問い合わせ先】

◇税額など 本庁舎課税課 内2129
◇納付方法など 本庁舎収税課 内2125
◇国保の加入、脱退など 本庁舎国保年金課 内2173
◇各庁舎の窓口
▷税額・減免・納付方法……各庁舎総務課
表郷 ☎2111 大信 ☎462111 東 ☎342111
▷国保の加入、脱退や給付……各庁舎市民福祉課
表郷 ☎2113 大信 ☎463974 東 ☎342113

案内

白河まちなか逸品 ちよい夏まつり

- 日にち 7月21日(日)
- 内容・時間 ▽逸品参加店による体験型イベント/午後3時から ▽屋台イベント/午後5時～8時
- 会場 白河商工会議所(道場小路)
- 白河商工会議所 ☎3101

ふるさと川まつり in白河たいしん

- 日時 7月27日(土)/午後1時15分～9時
- 会場 大信農村環境改善センター

ンター前駐車場(大信増見)
●内容 ウルトランショー、盆踊り大会、花火大会など
《前夜祭 夏だーたいしんピ
アガーデン》

- 日時 7月26日(金)/午後6時～9時(同会場)
- 内容 ビアガーデン、Yammyミニライブ
- 同まつり実行委員会事務局(大信庁舎事業課内) ☎463973

第2期福島県文化振興 財団助成事業

県では、文化活動支援を目的に8月1日(木)から11月30日(出まで)に行う次の事業を対象に、助成申請を受け付けます。
●対象事業 ①広く県民に公開する文化活動の成果発表事

業(美術展、音楽会、演劇などの公演や文芸誌出版など)
②発表会や公的機関から招へいされて参加する事業(他の助成内容については、県文化振興財団ホームページに掲載)
●対象者 県内に住所または活動の本拠を有する個人(県外在住の県出身者も含む)または団体
●受付期限 7月31日(水)まで
●本庁舎文化振興課 内2384

名古屋線運行開始

●運行日時 7月4日(木)から毎日/午後9時36分(西郷バスストップ発)～翌日午前6時19分(名古屋駅着)

- 料金 9,000円
- 申し込み・問い合わせ先 福島交通 ☎024153616131

白河南中継局開局に伴う 暫定衛星放送終了

白河南中継局エリア内の暫定衛星放送が7月31日(水)で終了します。開局した白河南中継局にアンテナを向け地デジ

市民天体観望会

望遠鏡を使って、月面や土星、夏の星座を観察します。

- 日時 7月14日(日)/午後7時～8時30分 ※曇りや雨の場合は中止
- 会場 J R白河駅前駐車場(駅交番西側)
- 参加料 無料
- 白河天文同好会 小椋 ☎3696

早稲田大学地域交流 フォーラム

- 日時 7月20日(土)/午後3時～5時
- 会場 ホテルサンルート白河(新白河駅前)

遠藤由美子講演会

- 日時 7月25日(木)/午後6時30分～8時
- 会場 市立図書館地域交流室(道場小路)
- 内容 奥会津のくらしに学ぶ
- 入場料 500円
- (財)立教志塾 ☎1427

参議院議員通常選挙 投票所の変更

次の投票区は、投票所が変更となります。
▷表郷第3投票区/小松集会所(名称変更前/小松高齢者若者センター) ▷表郷第4投票区/八幡集会所(変更前/中寺集会所) ▷大信第5投票区/日和田ふれあい交流センター(変更前/大信幼稚園) ▷大信第8投票区/日仙集会所(変更前/十日市生活改善センター)
※住所地以外に避難されている方は、郵便物が届くよう郵便局で手続きを行ってください。
※広報白河6月15日号3ページの「参議院議員通常選挙のお知らせ」で記載の誤りがありましたので、お詫びして訂正します。
(誤) 投票日
(正) 投票予定日
●選挙管理委員会事務局 内2510



市長の
手控え帖
白河市長
鈴木 和夫

『埋もれた歴史を見直す』

「八重の桜」が前半の佳境を迎えている。慶喜にハシゴをはずされ、徳川宗家の代わりには維新の血祭りの標的にされた会津。運命のいたずらと政治の非情さに痛めつけられる。義に死すとも不義に生きずと、戦いを決意する。決戦の地はどこか、それは奥州の関門白河。白河口での戦いの模様が先月2週にわたり放映された。綾瀬はるかさんと西島秀俊さんが、4月20日白河に来られた。南湖での桜の植樹や市民会館でのトークショーでは、これまで見たこともないような人の波。はるかちゃん、西島さんと黄色い声が飛び交う。素顔のはるかさんはとても魅力的だった。白い肌に見える。無雑作に結わえた髪。すらっとしたスタイル。清潔さと可愛い色気が折りあっていて。話していると微妙にズレる。普通はズレるとすつきりしないものだが、心地いいから不思議。女優としての将来性を感じさせる。

誰かの雰囲気似ている。大器といわれながら、若くして亡くなった夏目雅子。「瀬戸内少年野球団」の清らかさ、「鬼龍院花子の生涯」の汚れ役、「時代屋の女房」の謎めいた女。演ずるごとに芸域が広がります。大スターの予感がした。何となく、喜劇をやらせたら面白いと思った。笑わせるのは泣かせるより難しい。それもドタバタ爆笑ものより、思わずくくっと笑いが出るものはさらに難しい。本物の喜劇を演

じられる役者は一流。はるかさんの茶目つ気のある明るさと微妙なズレは、ぶっと笑いを誘うように思える。

さて、仙台・二本松・棚倉藩から2、500を超す兵が白河に集まる。中核は西郷頼母率いる会津で、新選組齋藤一らも加わる。歴然たる銃砲の差や、実戦経験の違いもあり敗れた。その後、小峰城の奪回を図るも失敗。100日にわたる戦いで千人もの死傷者が出た。肝心の白河に続き二本松も落ち、越後・日光口も突破され会津は丸裸。会津が戦場となった時点で勝敗は決まっていた。戊辰の戦いの帰趨は白河で決まったといえる。

しかし、白河のことは知られていない。同じく要地であった長岡の戦闘は、河井継之助という異能の家老を通し、司馬遼太郎が光をあてた。白河藩はこの時点で存在しなかった。直前まで老中に任ぜられていた阿部正外が、神戸開港時の不手際を指弾され、解任のうえ棚倉に移された。城主不在の中、主戦場になったことが要因のひとつかもしれない。また民衆レベルでも、広く語り継いでこなかったように思える。私達も小中高を通し、教えてもらった記憶はない。とても残念である。今、小中学校の授業で「白河の歴史再発見」を取り入れ、郷土の歴史や文化を教えている。故郷を知ることが日本を知ることになる。二本松少年隊のことも知られていない。二本松藩は、小峰城を築いた丹羽長重を祖とし、尚武の気風を誇る。この時、主力が出はらい老兵や少年を中心に軍を編成していた。砲術に自信のある少年隊は勇躍迎え撃つ。だが多勢に無勢。15歳にも満たない少年兵は次々と撃たれる。会津白

放送を受信してください。なお、アンテナ工事は電気店等にご相談ください。

万一、受信できない場合や不明な点がある場合は、お問い合わせください。
●本庁舎企画政策課 内2326

まちかど伝言板

虎隊にも劣らぬ悲劇がここにあった。

会津藩でおとしめられているのが西郷頼母。松平容保の京都守護職就任に強く反対したことが大きい。三尺ダルマとあだ名され、背は低いのが気合十分。年も5歳上。過激志士が暴れ京の治安は乱れていた。「この時勢に難局に当たるとは、薪を背負い火に入るようなもの。殿は会津を潰すおつもりか。養子故にかような振舞いにおぶのですか」と舌鋒鋭くせまる。そもそも西郷家は藩祖保科正之の分家筋にあたる。会津を愛する心は誰より強い。容保より自分が正統と考えたとしても不思議はない。しかし容保は、会津は將軍家と存亡をともにすべしとの家訓を盾に抑え込む。頼母も引かない。守護職一年後に「もうよろしいでしょう」と辞任を促す。4年後、迫りくる敵を前に、多くが主戦派の中、講和を主張する。

何をもちつて忠義とするかは難しい。人それぞれに忠義あり。主君に無条件で従うのも忠義。民・領地があつてこそその藩であるとし、危機を招く行為に盾つくのも忠義。逆名利君。主君の命であろうとも、それが藩の為にならないとすれば堂々と逆らう。冷視に耐え、頼母は四圍の状況を見極め、家訓よりも藩の安泰を上位に置いた。真の忠義の士といふべきか。

西郷家も悲劇にあう。妻千恵子や母、娘ら21人が自刃。藩の邪魔になるまいとの心は痛ましい。千恵子の辞世も胸をうつ「なよ竹の風にまかする身ながらも、たわまぬ節はありとこそ聞け」。頼母は大きな悲しみの中に明治を生きた。日光東照宮の欄干も務めたが、そのときの宮司は容保。頼母の胸中はどうだったろうか。